

ヒシャクゴケ科

トゲハヒシャクゴケ

Scapania hirosakiensis Seph. ex Muell. Frib.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

神戸市、西宮市

■ 国内分布

本州(紀伊半島以北)

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

風化した花崗岩の湿崖面に生育する。現状不明。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

外観はウニバヒシャクゴケに似るが、植物体は長さ5-10mmとずっと小さい。腹片は長楕円形で、縁にやや長い歯があり、歯は1細胞幅で先端が披針形の細胞からなる。葉身細胞の表面に顕著ないぼ状ベルカが密生する。雌雄異株。亜高山帯の倒木上に生育する。